

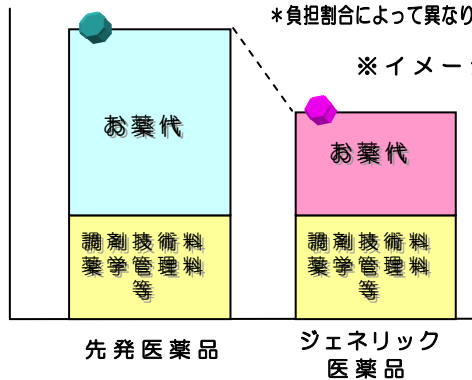
ジェネリック医薬品を使うと、どのくらい安くなるの？

ジェネリック医薬品の薬価は先発医薬品と比較して約2～7割と安くなっています。患者さんが保険薬局で実際に支払うお薬代は、保険によりその金額の1～3割ですが、残りの7～9割は保険財政からの負担となります。

先発医薬品からジェネリック医薬品に変更して医療費の自己負担がほとんど変わらない場合でも、保険財政の削減に大いに貢献できます。

高血圧や糖尿病などの生活習慣病のお薬のように、長く飲み続ける必要がある場合は、1回に負担する金額があまり減らなくても、長い期間を通してみると、ある程度の金額を節約できます。

薬局の窓口で支払う金額＝
(お薬代＋調剤技術料・薬学管理料等)
× (1割、2割又は3割)
*負担割合によって異なります。



*調剤技術料は、後発医薬品調剤体制加算の届出状況等により薬局ごとに異なる場合があります。

ジェネリック医薬品の注意点

- ! 先発医薬品によっては、ジェネリック医薬品が発売されていないものがあります。
- ! 病気や体質によっては、医師の判断により、先発医薬品からジェネリック医薬品に変更できないことがあります。
- ! 医療機関や薬局により、取り扱っているジェネリック医薬品が異なります。
- ! 薬局に在庫がないとき、お薬を用意するのに時間がかかることがあります。

まずは、
医師・薬剤師にご相談ください。



お問い合わせ

福岡県保健医療介護部
薬務課 (監視係)

電話：092-651-1111(代)
092-643-3285(直通)

公益社団法人福岡県薬剤師会
薬事情報センター
くすりなんでもテレホン
電話：092-271-1585

ジェネリック医薬品 Q&A

「ジェネリック医薬品」って最近よく耳にしますが、「なぜ安いのだろう?」、「品質や効果はどうなのだろう?」といった疑問をお持ちではないでしょうか。

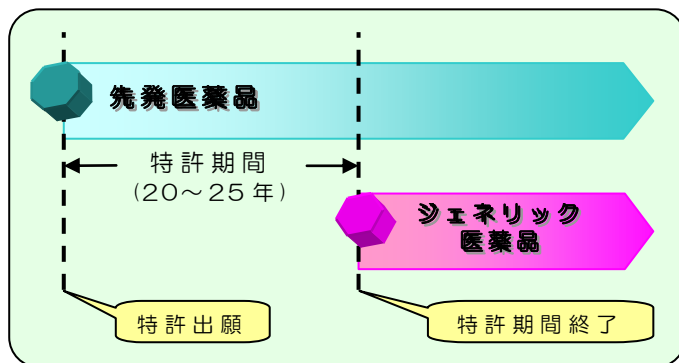
このQ&Aは、そんな疑問にお答えし、多くの方にジェネリック医薬品をより身近なお薬として、安心して使っていただくために作成しました。

平成27年発行

「ジェネリック医薬品」ってなに？

ジェネリック医薬品（後発医薬品）は、先に開発された薬（先発医薬品）の特許期間終了後に他のメーカーが、同じ有効成分・同じ効き目として申請し、国が承認した医薬品です。

国や県は、ジェネリック医薬品の普及を積極的に推進しています。



効果や品質は大丈夫？

ジェネリック医薬品の安全性は、同じ有効成分を持つ先発医薬品が医療現場で長年使用されており、十分確認されています。

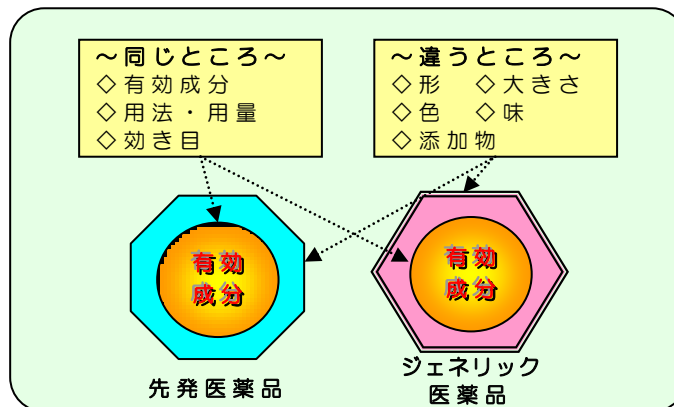
有効性、品質についても、国が定めた基準に適合していることを確認しています。

このように、ジェネリック医薬品ができるまでには、厳しい基準をいくつもクリアする必要があり、常に医薬品の安全性・有効性・品質は保たれています。

色や形などが違うのだけれど？

ジェネリック医薬品は先発医薬品と有効成分は同じですが、添加物や基剤が異なることがあります。

このため、色や形、大きさ、味、使用感（貼りごち、塗りごち）などが先発医薬品と異なる場合があります。



どんな種類があるの？

高血圧、高脂血症、糖尿病などの生活習慣病をはじめ、様々な病気の治療などに使用する薬があります。

同じ成分のジェネリック医薬品でも価格が異なる場合があります。

味やにおい、大きさを改良し、飲みやすいものにしたたり、安定性を向上し、扱いやすいものにしたたりするなど独自の工夫を加えた製品もあるので、その中から自分にあったお薬を選ぶことができます。

ジェネリック医薬品はなぜ安い？

先発医薬品は、病気の治療に有効な新規物質を探し、動物試験や臨床試験など様々な過程を経て、安全性や有効性を確認した上で承認されます。この開発には、長い年月と巨額の開発費がかかります。

一方、ジェネリック医薬品は、先発医薬品で既に有効性や安全性が十分確認された有効成分を利用しており、製品の品質や先発医薬品との同等性を証明すれば、承認されるため、開発期間や経費を大幅に抑えることができます。

このため、ジェネリック医薬品の公定価格（薬価）は、一定のルールにより安く設定され、先発医薬品の約2～7割の価格になります。

「一般名処方」ってなに？

お薬の名前でなく、有効成分の名前（一般名）で書かれていれば、ジェネリック医薬品または先発医薬品のどちらでも選ぶことができます。

一般名処方とは、医師がジェネリック医薬品を選択しても良いと認めています。

【般】ファモチジン錠 10mg 2錠

(有効成分の名前：一般名)

1日2回朝食後・就寝前 ○日分